



▲毎年1月5日に行われる「久米水天宮大祭(だるま市)」。

みんなのひろば



▲地区ごとに実行委員会を組織して、まちづくりセンターなど11会場で行われた『第67回所沢市成人のつどい』。



▲蜜が丈夫に育ち良質な繭ができることと、農作物の豊作を祈願する『まゆまつり』。



▲消防職員と所沢市消防団が巨額の訓練の成果を披露した『埼玉西部消防局・所沢市消防出初式』。

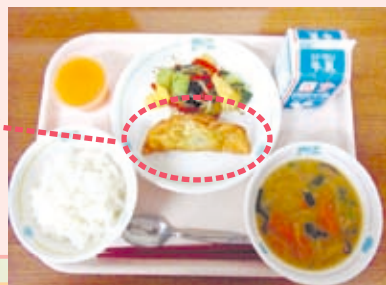
おうちで食べよう! 所沢の学校給食

31 かりっとねっとり里芋ぎょうざ

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

◆今回の献立

- みかじまそだちの白ご飯
- 牛乳
- かりっとねっとり里芋ぎょうざ★
- じまんの夕アサイDE中華
- まーぼー大根スープ
- にんじんゼリー



★かりっとねっとり里芋ぎょうざ

材料(4人分)

- 里芋……………80g
- 玉ねぎ……………40g
- サラダ油……………適宜
- 小松菜……………20g
- チーズ……………30g
- 塩……………少々
- こしょう……………少々
- ぎょうざの皮……………(ジャンボサイズ) 4枚
- 水……………適宜
- かたくり粉……………適宜
- 揚げ油……………適量

作り方

- ①里芋は、角切りにし蒸して粗くつぶす。
- ②玉ねぎは、みじん切りにして油で炒め、冷ましておく。
- ③小松菜は、細かく刻む。
- ④チーズは、5mm角くらいに切る。
- ⑤①に②と塩・こしょうを加えてよく混ぜる。
- ⑥⑤に③・④も加えて、混ぜ合わせる
- ⑦ぎょうざの皮に⑥のをせ、水で溶いたかたくり粉をのりにして包む。
- ⑧⑦を油でかりっと揚げて出来上がり。

ここがポイント

所沢市の里芋

埼玉県は里芋の生産量が千葉県、宮崎県について全国第3位です。埼玉県の中では所沢市が第1位で、所沢市の里芋は味がよく、ねばりがあっておいしいと有名で「黒いダイヤモンド」と呼ばれています。

今回のメニューは、平成24年度に埼玉県の学校給食調理コンクールで入賞した三ヶ島小学校のメニューです。所沢産の里芋を使って、皆さんもぜひ作ってみてください。

問い合わせ 保健給食課 ☎2998-9249 ㊟2998-9167

はっぴー 野老っ子



「今まで受賞した数ある賞の中で、今回受賞した『自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰』が一番嬉しい」と言うのは、こぶし団地自治会発足当初の昭和43年に自治会副会長に就任、翌年から現在まで45年間、会長を務めている吉田常雄さんです。

「ロト下だめといわれて彼女が言ったよ。お父さん、お母さん、兄弟みんなを連れて、ハワイでもっと度々結婚式を挙げたい」と、それと相手はやっぱりほくそ笑んで「さー」と、息子は少し鼻の下を伸ばし、嬉しそう。主人は孫をひざに乗せ、黙って聞いていました。息子夫婦は海外で挙式し、私たちは都合で参列できなかったのです。「お母さん、ハワイ大好きですよ。」「お母さん、お嫁さんが追い打をかけます。」「家族の愛を感じた新年でした。何よりうれしかったのは、息子を大事に思ってくれているお嫁さんの心でした。」

自治会等地縁による団体功労者として総務大臣から表彰!

吉田 常雄さん (こぶし町在住)

作り高齢者のための憩いの施設『こぶしふれあいサロン・ピッコロ』を開設しました。吉田さんは「生活する上で食事の用意が出来ないということは大変なこと。高齢者に安心して食事が出来る場所を提供し、そこに高齢者が集えば引きこもり防止につながり、多くの方に喜ばれると思い開設しました」と言います。



▲市長へ受賞の報告をする吉田さん

ところざわ 歴史まめ知識

所沢の市域に関わる歴史的事項を50音順で紹介しています。今号は「ろ」です。

ろ **六斎市** 所沢の市は「三ッ八の市」と呼ばれ、毎月3と8の付く日(3、8、13、18、23、28日の計6回)に開かれました。このような形態を「六斎市」と言い、月に3回、例えば3のつく日(3日、13日、23日)だけ開催される場合は「三斎市」と言いました。市白の決め方は、近隣の定期市とかぶらないことが優先されました。しかし、実は扇町屋(入間市)や引又(志木市)の市日も、所沢と同じ「3・8」の日でした。これはこの周辺の最大の定期市、川越の「2・6・9」の市日を避けたためと考えられています。

六所神社 西武池袋線の降り電車が西所沢駅を出てしばらく走ると、左手に上新井の鎮守、六所神社の本立が見えてきます。この「六所」という名は、かつて「六所宮」と呼ばれていた府中大國魂神社を勧請(神仏の霊を移しまつること)したことに由来します。「六所」とは武蔵国の6つの重要な神社のことで、それらをまとめて国府(武蔵国の役所)の近くにまつり、大國魂神社のもとができたのです。その流れをくむ上新井の六所神社も、スサノオノミコトなど多くの神様を祭神としています。覆い屋に納められた本殿は、市の文化財に指定されています。

六歌仙図大絵馬 上山口の金葉院(山口観音)に、小野小町や在原業平など平安初期の6人の歌人が描かれた、幅3メートル近くに及ぶ大絵馬が残されています。これを描いたのは右川文松という青梅出身の絵師で、寛政10年(1798)に生まれ、江戸の谷文晁のもとで修業し、故郷の青梅を経て、安政4年(1857)に没するまでの約20年間を、市内の勝楽寺村・三ヶ島村で過ごしました。作品は、山口地区・三ヶ島地区や、武蔵村山市の真福寺などに残されています。

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ ☎2991-0308 ㊟2991-0309

誰でもエッセイ

◆テーマ「家族」 ◆家庭の味 ◆母の人生

最近はお孫の育んだ家庭の味が懐かしく思われる。貧しい食生活の中、母が苦労して料理の味付けを考えてくれた我が家の味だ。現在の豊かな食生活はうれし反面、恵まれすぎていいたくが少々怖いとさえ思われる。おいしいものを簡単に食べられるのが当然のように育っていることも心配になってしまふ。

一日三食の大半以上を外食と弁当で済ませている息子などは、家庭の味が合わず育ってしまつて、家庭の味を知らない。好き嫌いが多く、心配である。

上安松 金澤 房子